

「クリエイターの話 ～私のイメージの源泉」

スペースデザイン部会員 たむら じゅんや 田村 純也

『職人から創作へ』

十代から家業である石材業に就き墓石や記念碑の製作加工、設置の仕事をしてきました。

石の種類は多種多様で正確な加工が求められ若いときは苦勞しました。

職人として10年が過ぎた頃に札幌芸術の森美術館で「イサム・ノグチ展」を観ました。

作品の前には人の行列があり、それまで全く美術に興味がなかった自分にとってその行列は衝撃でした。

そこで自分の作品を作りたいと思ったのが創作のきっかけです。

始めは小さな照明や表札、花器を制作し、次第にサイズも大きくして他の素材を組み合わせたりインスタレーション作品にも挑戦してきました。

私がイメージする源泉は、日常の変化や感情の内にあると思います。

例えば空気とか音、匂いなど物理的に存在するが形として見えにくい物から感じたことや、また生き物の生死など片寄った感情が生まれたとき。

そこから想像力を必死に使ってカタチにしています。

< 札幌での個展 >

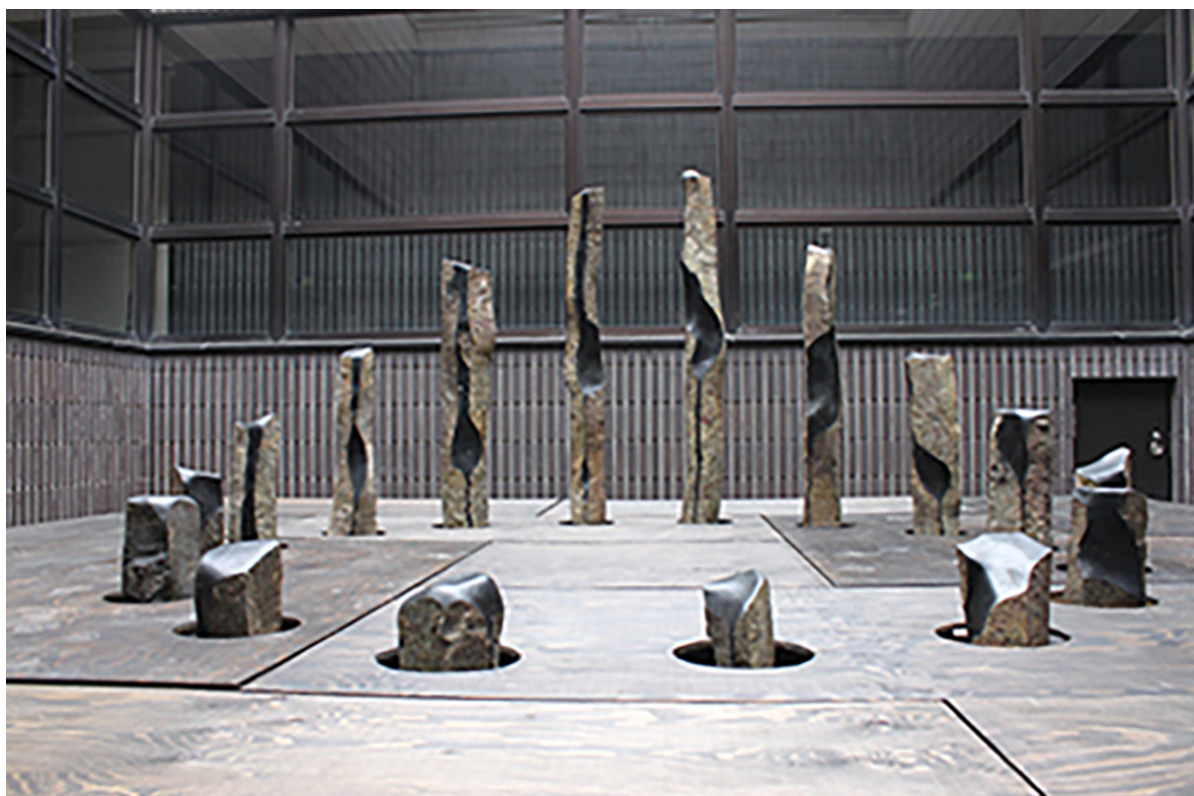




< 「月壊 (ゲツカイ)」自宅坪庭 >



< 「縷伝 (ルイ)」苫小牧美術博物館 中庭企画展示 >



< 無題 >



< 「ISIAKARI・無風ノ空」札幌芸術の森美術館 中庭企画展示 >



<「躍耀 (ヤッコウ)」建設会社記念碑 >



<「奏伝 (ソウイ)」苫小牧美術博物館 常設展示 >



田村 純也 プロフィール

Tamura Junya

1971年 北海道 苫小牧市 生まれ
2017年 新制作 入選
2018年 新制作 入選
2019年 新制作 入選
2022年 新制作 新作家賞
2023年 新制作 会員推挙



○SD 通信 Vol.71『クリエイターの話 ～私のイメージの源泉』田村純也 編は如何でしたか。石という素材と長年向き合ってきた田村さんは職人であると共に造形作家として幅広く活躍されています。今回は新制作展の会場では中々見られない、インテリアスケールの作品からスケールの大きなインスタレーション作品まで幅広くご紹介いただきました。田村さんのイメージの源泉は「日常の変化や感情の内にある」とのこと。作家の感受性と頑強な素材との造形対話がこれからもとても楽しみです。皆さんの感想も是非お聞かせください。

◆田村純也さんの情報は新制作協会ホームページにも掲載されています。

→ <https://www.shinseisaku.net/wp/archives/27930>

◆SD 通信のこれまでのバックナンバーは協会ホームページに掲載されています。

過去に配信したシリーズ「私を創ってくれた3つの作品」のバックナンバー (Vol.1~35) もご覧いただけます。

→ <https://www.shinseisaku.net/wp/archives/26661>

◆第88回新制作展のSD部会場の様子が見れる <バーチャルパノラマツアー>

下記のアドレスからアクセスください。

→ <https://r93840544.theta360.biz/t/e3b09dbc-9430-11f0-b697-060182f6995f-1>

◆今年2月に建築会館ギャラリーで開催された『88th 新制作展 スペースデザイン部受賞作家展』の記録はこちらでご覧いただけます。

→ https://www.shinseisaku.net/wp/wp-content/uploads/2025/08/202688th_jyusyo-artist.pdf

合わせて<バーチャルパノラマツアー>もご覧ください。

→ <https://r93840544.theta360.biz/t/9d6c394e-fdb0-11f0-9f86-0a7fdda087bb-1>

◆新制作協会ホームページはこちらから。

新制作協会公式インスタグラム・新制作協会広報フェイスブックページが開設されました。TOPICS からSD部のホームページやSD部公式Facebookにもアクセスできます。

→ <https://www.shinseisaku.net/>